



岡村病院
院内報

歩 (あゆみ)

創刊号

発行 岡村病院
編集 歩(あゆみ)
編集委員会
平成5年4月1日

岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え
高度な専門医療技術をもって
地域社会に貢献することを目指します。



病院増改築完成予想図 (平成6年2月完成予定)

チャレンジ3 CHALLENGE・3

1

私たちは、いつも「おもいやり」と「積極性」をもって患者さんから愛される病院づくりにチャレンジします！

2

私たちは、高度な医療技術と専門性をもって、地域社会からより一層信頼される病院づくりにチャレンジします！

3

私たちは、一人一人が専門家としての自負と責任をもち、明るく、さわやかで発展的な病院づくりにチャレンジします！

今月のことば

おもいやり

弟子の子貢が「一字で、これだけを守っておいたらよいと言う言葉はありませんか」と問うたのに対して、孔子は「それは恕(じょ)だ」と答えています。恕とは「おもいやり」と言う事です。

アメリカの自動車王フォードは「この世の中に成功の秘訣があるとすれば、それは常に相手の立場になって、ものを考える能力をもつことである」と言っています。「相手の立場になってものを考える」それがおもいやりです。

今、人類にとって最も必要なものは、おもいやりだと言われています。私共の間でも、また患者さんに対しても、そうではないでしょうか。

発刊に寄せて

～21世紀の医療に向かって～

副院長

岡村 高雄



この度、岡村病院の院内報「歩」が、職員皆様の自発的な発案により発刊となった事を嬉しく思っております。

21世紀まで7年弱となった現在、岡村病院はかつてない大きな変革の時期を迎えております。日本も経済大国、豊かな国と言われる様になり、医療に於いては国民皆保険制度と言う優れた制度が確立されていますが、治療を受ける環境、治療の質に関しては十分とは言い難い現状であります。本院開院以来、45年にわたって築き上げてきた、地域の人々の信頼を基に、岡村病院を来たるべき21世紀に対応できる、新しい病院として再構築する事が、急務と考えられます。この為には、平成3年度より導入したHospital Identity (HI)計画を推進して行く事です。HI計画とは、岡村病院の存在意義、理念を明確にして、病院の施設、機器の改善といったハード面と患者の方々から信頼される医療体制、サービス等のソフト面の充実を目指す事です。岡村病院の存在意義、理念は「高度な専門技術をもって地域社会に貢献すること」

であり、この為、ハード面の充実として現在、病院の増改築が進行中であります。本年11月には新館がオープンし、平成6年2月には現在の新館の改築が完成し、少なくとも高知県下では最新の、全国的にも注目される21世紀に向けた新しい病院のあり方を提案できるものと確信しております。またこれと同時により一層高度な医療体制及びサービスの充実をみざさなくてはなりません。この為には、職員個々が研鑽を積み、全員が一体となって自由な、柔軟な発想に基づき能力を発揮する事が必要と思われまます。病院としても積極的に職員の能力向上に貢献すると共に人材の確保にも努力しなければならぬと考えております。

HI計画は21世紀に向けた新しい医療のあり方を地域の人々に問うものであり、本計画の成功の有無は職員各位の御協力にかかっていると云っても過言ではありません。院内誌「歩」と共に皆様の共にこの道を歩んでいきたいと考えております。

健康一口メモ

珈琲は悪者か

ストレスの多い現代においては、タバコ、酒、などとともかなりの量のコーヒーを消費する人が少なからず存在する。コーヒーあるいはカフェインに関しては古くから、虚血性心疾患をはじめとする動脈硬化性病変や消化性潰瘍などの増悪因子ではないかと言われてきました。現在のところでは1日1000mg以上のカフェインを摂取した場合には、頭痛、動悸、下痢などの症状を呈する傾向があると報告されています。しかし上記は10杯分以上の量にあたり1日1～2

杯では問題にならず、明かな疾患増悪因子であるという報告もない。

最近Caffeine Withdrawal Syndromeという言葉がときどき聞かれるようになった。日本語ではカフェイン禁断症状といったところか。これはコーヒーを1日3杯以上摂取する習慣をもつような人が、急に摂取をやめると摂取後12～24時間から最大20～40時間後を中心として発生し長い人で約1週間程度続く症状である。頭痛、抑鬱症状などが出現し日常生活において能率低下を引き起こすことがある。対策としては急激な摂取中止ではなく徐々に減量していくのがよいとされている。いずれにしても普段から過剰摂取をしないことが大切である。

(内科 川村Dr.)

ひろば ちよつと聞いて

ちよつと幸せなこと

病棟 佐藤 和子

私は好奇心が旺盛な人間だと、自分では思っている。

今、アクアビクス、ヨガ、フィットネス、ダンスをしている。全部とても気に入っている。どの教室でも「いつも元気ね」、「やせているのになぜ」とよく云われる。私は笑って「楽しいから」と返事をする。苦手だとか、至難の業だとか思っていた事ができるようになる、そこが面白い。何よりも先入観を捨てれば、人間の身体って、不思議がいっぱいだと思える事が楽しい。

小旅行がこの一、二年でやっと可能になった。それまで子供の学校、母の病気と、ゆとりがなかった。そんなすべてから解かれた日、奈良に行った。90年9月22日である。

ひどく高ぶった気持で、まるで走って行ったという思いが今でもする。二日間早朝から暗くなるまで、浮かれたつように大和路を歩いた。何処にいても、とてもなつかしい気がして「遠い昔、私はこの都にいた」、そんな思いが自然にわいてくる旅だった。

春のおとずれ

薬局 田村 麻美子

小雪舞う日があっても、春はやってきました。野に山に里に、柔らかな日差しが降り注ぎ、この間までの枯れた静寂の世界が一気に活気づこうとしています。一週間前何もなかった畑にチューリップがかわいい芽を出し、やわらかい緑色の蔭の壺がむっくり頭を持ち上げ、三ッ葉がパッと葉を広げて、ナズナ、イヌフグリ、ハコベなども小さな花をつけ、里は大忙しです。目を上げると、桃の花がはや咲きだし、ボケもボタン色の花をごつつい枝にしっかりとつけています。ヤブ椿も花いっぱい、幼ない頃、この花で首飾りを作ったことなんか思い出しています。

寒い冬をじっと耐え、やっと待ちに待った春がやってきたのです。花が咲き、蝶々が舞い、街にパステルカラーがあふれます。春を丸ごと

楽しみましょう。辻嘉一氏は春の味覚は苦みだと言っておられます。冬の運動不足、食べ過ぎで弱った胃が元気になるそうです。蔭の壺のほろ苦さ、大人の味ですね。天プラによし、佃煮によし…。雪の中に見つけたワサビもいいですね。二杯酢、みそ漬、白あえ、…。そしてワラビ、ゼンマイ、タラの芽の季節がやってきて、イタドリをうんざりしながらむくようになります。

桜の咲く田舎道をドライブする時、ミツマタ、スマレ、ユキヤナギ咲く山里を歩く時、所々に雪の残る山に入り春霞みの山々を眺める時、山菜の数々を口にすると、訳もなく幸せを感じます。そしてありがたいなあと思います。

忘れることなく、間違うことなく移り変わる自然、人の心を豊かにしてくれる自然、みんな大切にしたいと思います。

私の感じたこと

検査 松本 美佐子

ある晩、私は一つの場面に遭遇しました。ICUでの出来事です。

静かな病室で、ドクターの激しい声に看護婦さんが慌ただしく重症の患者さんの治療に当たっていました。何かピーンとした緊張感がありました。ドクターも看護婦さんも付きっきりの看護でとても疲れている様子でした。「凄いなあ、大変だなあ」と思いながら部屋を出ると、中から看護婦さんの声が聞こえてきました。「○○さん、大丈夫やき、頑張りよ頑張らんといかんで」その時私は胸が熱くなりました。看護婦さんには当り前の事かもしれませんが、私は患者さんの身になって、改めて看護の大切さを思い知らされました。

意識朦朧の患者さん、どんなにかドクターの手厚い看護や看護婦さんの優しい言葉が励みになるか、きっと心の中で「ありがとう」と言っているに違いありません。高度な技術も大事かもしれませんが、心のこもった看護に、私は深く胸を打たれました。

患者さんが信頼して治療を受けられるよう、又、家族の方々が安心して任せられるように、ドクターのみなさん、看護婦のみなさん、これからもどうか頑張ってください。陰ながら応援させていただきます。

ニューフェイスです。ヨ・ロ・シ・ク!!

①職種 ②出身校・経歴 ③趣味 ④住所



西山 宏明

①放射線技師 ②日本医学技術専門学校・四国勤労病院 ③機械いじり ④高知市瀬戸東町



山本菜穂子

①看護婦 ②県立総合看護学校 ③映画鑑賞、読書 ④吾川郡春野町



土居 桂子

①看護婦 ②高知市立高等看護学院 ③音楽鑑賞、読書 ④高知市北竹島町



吉本多予子

①看護婦 ②高知市立高等看護学院 ③美術一般 ④高知市越前町

県医師会准看学院学生さんと出身校



檀林佐枝美
丸ノ内高校



松浦 晃子
高知東高校



笹岡 真樹
山田高校



西村 利恵
仁淀高校



多賀 慶子
窪川高校



武政 旬香
大正高校



酒井 志保
幡多農高校

“初心忘るべからず”

今の気持ちを大切に

頑張ってください。

准看護婦試験合格、

おめでとうございます。

武島 しのぶ 手島 亜由美
岡本 理絵 高橋 利恵
岩田 理恵子

<退職> ご苦労様でした。

2月 三野美恵子さん 田井 恵美さん
浜田 優子さん
3月 升田 茂さん 森田 加代さん
武藤亜希子さん 藤田 善己さん

～ うれしいニュース ～

山本菜穂子さんが県の看護専門学校を卒業して帰って来ました。

検査の和田昌子さんが4月24日(土)結婚します。同じく検査の横田富美さんが、産休、育児休業を終えて4月21日より復帰します。赤ちゃんは平成4年10月20日生まれの子、名前は匡司(まさし)君。



私達は、一年間、院内誌の編集をさせてもらう事になりました。

みなさんにも原稿を書いて頂いたり、インタビューにお邪魔したりしたいと思います。また、いろいろな情報があれば教えてください。

歩(あゆみ)がみなさんのよいコミュニケーションの場になりますよう、一生懸命頑張りたいと思っています。ご協力、よろしく願ひ致します。

— 編集後記 —

はじめての試みで、とまどいもありましたが、何とか発刊の運びになりました。お忙しい中から原稿をお寄せ頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。誌名は36通の応募の中から、岡本めぐみさんの「歩(あゆみ)」が選ばれました。ご協力ありがとうございました。